

第二部 新能番組（午後五時四十五分始）

◇新能開会式

◇解説

◇舞囃子

天鼓

◇仕舞

金森 秀祥
飯嶋六之佐
住駒 幸英
瀬賀 尚義

館 聖
渡辺 茂人
山崎 健
米島 和秋

松風

大坪喜美雄

鶉ノ段

佐野 由於

◇狂言

因幡堂

シテ 能村晶人
後見 中尾史生

アド 炭光太郎
小アド 清水 宗治

水口 純治
金森 秀祥
金森 良充
寺田 茂

◇火入れの儀（午後七時ごろ）

◇能

シテ 金井雄資

熊坂

間 中尾史生

飯嶋六之佐
住駒 幸英
徳田宗久
瀬賀尚義

米島 和秋
寺田 茂
水口 純治
館 聖
金森 秀祥
大坪喜美雄
佐野 由於
山崎 健

後見

渡邊茂人

金森良充

【あらすじ】

能 熊坂（くまさか）

旅の僧が美濃国赤坂で土地の僧に声を掛けられます。

男は実は盗賊の頭領・熊坂長範の亡霊であることを明かし、姿を消します。やがて薙刀をかついで現れた亡霊は、生前牛若に討ちとられたときの有様を生々しく物語り、再現します。

草庵で向き合う二人の僧の静かな前場と、熊坂が薙刀を持って舞う後場の鮮やかな対比が見所です。

【あらすじ】

狂言 因幡堂（いなばどう）

大酒呑みの妻を持つ男が、妻の留守中に離縁状を送りつけ、新妻を得るために因幡堂の薬師へ妻乞いにやってきます。

薬師のお告げを夢見に聞いた男は、早速その出会いの場所へ行くと、そこには女性が一人立っていたので、自宅へつれてゆき婚礼の杯を交わすが、女の被衣を取るとその女は離縁した筈の妻でした。

夫の狼狽する様が見所です。

高岡文化ホール会場案内図

